

★研究開発成果を事業競争力に直結させる知財戦略。技術と事業の接点を整理し、特許権利化やポートフォリオ形成、他社特許対応まで、R&Dと知財部門が共通の前提で議論できる実務ノウハウを学べます！

# 研究開発のための知財戦略 - 技術を競争力に変える特許のしくみ -

【LIVE配信】【アーカイブ配信】 [セミナーURLはこちら→https://www.rdsc.co.jp/seminar/2605128](https://www.rdsc.co.jp/seminar/2605128)

- ◆日時: 2026年06月05日(金) 13:00~16:00
- ◆アーカイブ配信: 6/8(月)~6/22(月) 期間中何度でも受講可能
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

⇒1名につき**33,000円(税込、資料付き)**  
2名同時申し込みの場合、1名につき**22,000円(税込)**

## 講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

<p><b>【講師】</b> (株)Polyuse BizDev 知財戦略マネージャー (株)知財の楽校 代表取締役社長 (株)知財塾 社外取締役 <b>玉利 泰成氏</b></p> <p><b>【受講特典】</b> 書籍『図解 研究開発のための知財戦略—技術を競争力に変える特許のしくみ』(中央経済社)をテキストとして使用します。</p>	<p><b>【趣旨】</b> 研究開発型企業においては、技術開発、事業戦略、知財活動がそれぞれの専門領域として推進されることが多く、必ずしも同じ前提で議論されているとは限りません。その結果、研究開発の成果が特許として権利化されていても、それが事業戦略の中でどのような役割を持つかが十分に整理されないまま進んでしまう場合も少なくありません。本セミナーでは、R&amp;Dと事業の関係の中で知財活動をどのように位置付けるべきかという観点から、研究開発型企業における知財戦略の基本的な考え方を整理します。特許戦略や特許ポートフォリオの形成、他社特許を踏まえたクリアランス調査などを題材に、技術テーマと事業戦略を踏まえながら知財活動をどのように設計していくべきかについて解説します。研究開発部門と知財部門が共通の前提で議論できる状態をどのように築くのか、また知財担当者がどのような視点で実務判断を行うべきかを整理することで、研究開発の成果を競争力へとつなげる知財戦略の実務的な理解を深めることを目的とします。</p>
<p><b>【プログラム】</b></p> <p><b>1. 研究開発と知財戦略の関係</b> 1-1. なぜ研究開発に知財戦略が必要なのか 1-2. 技術開発・事業戦略・知財活動の関係 1-3. 研究開発に寄り添う知財戦略とは何か</p> <p><b>2. 研究開発成果と無形資産</b> 2-1. 研究開発によって生まれる無形資産 2-2. 技術ナレッジと競争力の関係 2-3. ナレッジマネジメントと知財戦略</p> <p><b>3. ビジネスモデルと知財戦略</b> 3-1. ビジネスモデルと知財の関係 3-2. 事業領域の陣取り合戦としての知財活動 3-3. 攻めと守りの知財ポートフォリオ</p>	<p><b>4. 研究開発者のための特許制度の基礎</b> 4-1. 特許制度の趣旨と基本構造 4-2. 自社特許出願と他社特許対策 4-3. 特許権の効力と技術開発への影響</p> <p><b>5. 研究開発テーマと特許戦略</b> 5-1. なぜ特許を出願するのか 5-2. どの技術を権利化するのか 5-3. どの市場・競争環境を前提にするのか 5-4. どの時間軸で知財活動を考えるのか</p> <p><b>6. 特許ポートフォリオの設計</b> 6-1. 技術テーマと特許戦略の関係 6-2. 研究開発の進展に応じた知財活動 6-3. 特許ポートフォリオ形成の考え方</p> <p><b>7. 他社特許と研究開発</b> 7-1. 他社特許が研究開発に与える影響 7-2. 他社特許の読み方 7-3. 自社技術との関係の整理</p> <p><b>8. クリアランスと実務判断</b> 8-1. クリアランス調査の基本構造 8-2. 設計変更による回避 8-3. ライセンス・無効検討などの選択肢</p> <p><b>9. 研究開発と知財の連携</b> 9-1. 研究開発部門と知財部門の対話 9-2. 共通言語としての知財戦略 9-3. 組織としての知財活動の進め方</p> <p><b>10. まとめ</b> 10-1. 研究開発のための知財戦略 10-2. 技術を競争力に変える知財活動</p>

『知財戦略』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812 ※ご希望の参加形式にチェック下さい⇒LIVE / アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>